

『化石や!これ化石!』 4歳児 7月 伏見こども園

エピソード

数日前まで水たまりがあった場所が乾いて地面がひび割れていました。AくんとBくんはシャベルでそのひび割れを削ったり、一つずつ手に取ったりして集めていました。Aくんはきれいに地面からはがれた土を手にとると、「化石や!これ化石!」と、近くにいた保育者に嬉しそうに見せました。保育者「本当、化石みたいだね。今日は地面が乾いているね」とAくんに声をかけ、一緒に土のかたまりを見ました。

その後、Aくんは化石を手を持って運び、水が入った大きなタライの中に入れました。土のかたまりは水の中に沈み、色がこげ茶色に変わりました。その様子を見たAくんは、水の中からそっと土のかたまりを手で取り出しながら「潰れへんな。チョコレートみたい」とつぶやき、不思議そうにしていました。

さらに、濡れた土のかたまりを持って砂場に行き、砂をかけました。土のかたまりの表面には細かい砂がつき、Aくん「きな粉チョコレート」と、保育者に見せました。Aくん「食べていいよ」、保育者「きな粉チョコレートみたいだね。甘くておいしいね」と、食べる真似をすると嬉しそうに微笑んでいました。

子どもの育ちや学び

化石や!これ化石!
(土が乾くとひび割れる・
かたまりで取れることに**気付く**)



潰れへんな。
チョコレートみたい (**不思議さ**)



きな粉チョコレート
(表面に砂がつく**面白さ**)

- ・地面が乾くと水たまりがなくなり、ひび割れすることやかたまりでとれることに気付く。
- ・土のかたまりを水につけると色が変わったり、かたいかたまりは水につけても潰れないことを感じたりする。
- ・水で濡れた土のかたまりに砂をかけると表面に砂がつき、見た目が変わることを知る。
- ・土のかたまりのかたさや色、見た目から感じたことを「化石」や「きな粉チョコレート」に見立てたり、土のかたまりを介して保育者とやりとりをしたりする。

保育者の思い

- ・数日前まで水たまりができていた場所が乾き、地面がひび割れていることに気付いて遊び始める子どもの姿を見守りながら、どんな遊びにつながるか楽しみにしました。
- ・地面からはがれた土を「化石」に見立てる姿が面白いと感じるとともに、これまでの経験から「化石」という言葉を知っていたのかなと思いました。また、「化石みたいだね。今日は地面が乾いているね」とAくんの思いを受けとめるとともに、地面が乾くとひび割れるということにも目を向けられるように声をかけました。
- ・土のかたまりを水の中に入れたり、砂をかけたりして次々に試して遊ぶAくんの姿をワクワクしながら見守りました。土のかたまりが変化していく様子を見立てたり、言葉で表現したりするAくんとやりとりを大切にしました。

家庭だったら・・・

土の様子や色、かたさなどを
感じ、自分の知っている言葉
を使って表現する子どもの姿に
保育者も楽しさを感じていま
す。お家の方もぜひ、子ども
のつぶやきに耳を傾け、一緒に楽
しんでみてください。